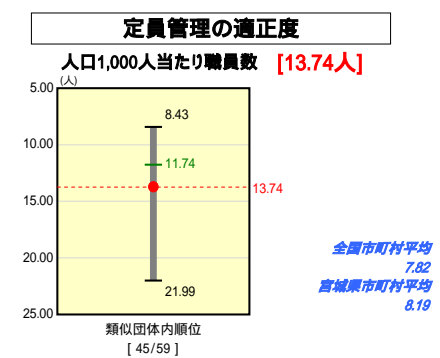
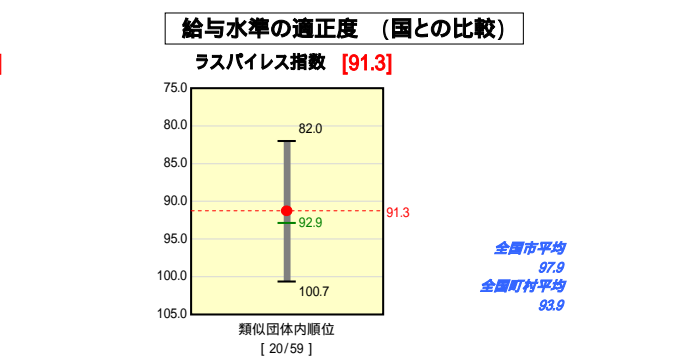
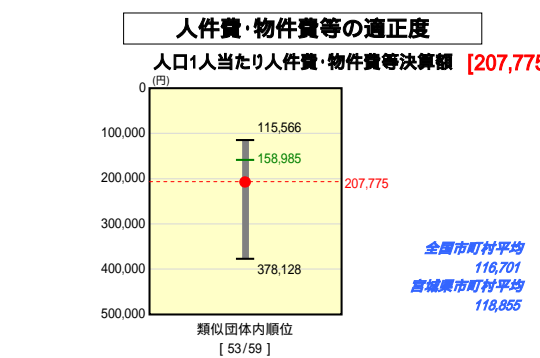
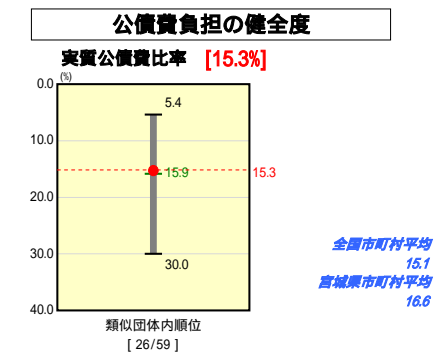
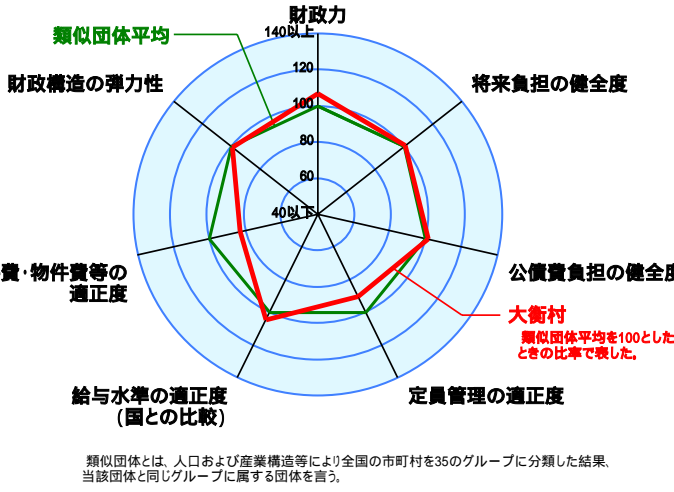
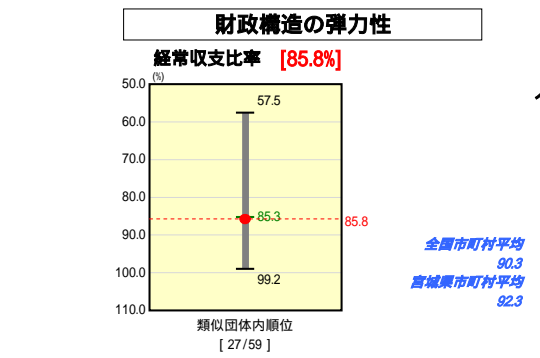
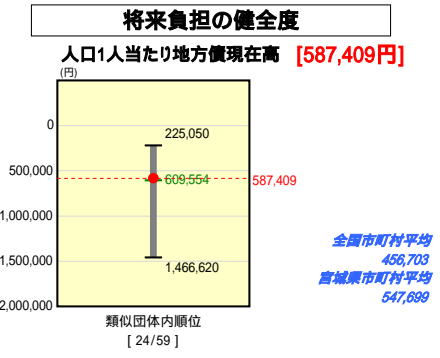
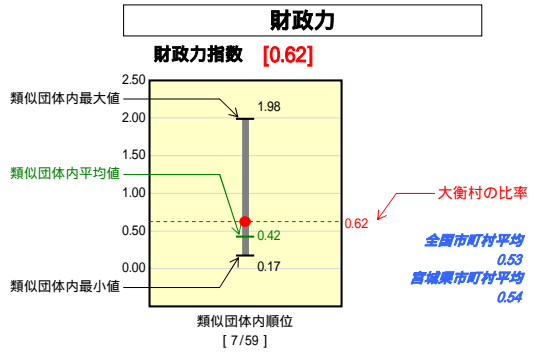


市町村財政比較分析表(平成18年度普通会計決算)

宮城県 大衡村

人口	5,677	人(H19.3.31現在)
面積	60.19	km ²
歳入総額	3,523,522	千円
歳出総額	3,347,577	千円
実質収支	169,070	千円



人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

財政力
 ここ3年間で連続した伸びを見せしており、0.62となっている。これは企業立地等に努め、村税の確保に努めたことが要因としてあげられる。これからも村税を中心とする歳入確保に努める。

財政構造の弾力性
 類似団体の平均を若干上回っているが、計画的な職員の定員管理や手当の見直し等給与の適正化(特殊勤務手当などの諸手当の見直し)による人件費の削減、福祉関係経費の増加等により増加傾向にあるが、行財政改革への取り組みを通じて義務経費の削減に努め、現在の水準を維持するよう努める。

人件費・物件費等の適正度
 類似団体の平均を上回っている。これは今年から公園及び一部施設の維持管理等を指定管理者制度に基づき指定管理者に委託したためである。これからも随時施設等の維持管理を指定管理者に委託する予定であるが、集中改革プラン等に基づき、事業の見直し等を行い、一層の削減に努め適正度を図っていく。

給与水準の適正度
 職員の定員管理計画(H17～21年度)などにより、類似団体平均を下回っている。これからも計画的な職員数の抑制、給与制度の改革を行うなど、なお一層の給与の適正化に努める。

将来負担の健全化
 現在のところ類似団体平均を下回っているが、今後H19～H20年度に小学校大規模改造事業や統合補助事業による地域の基盤整備事業等が予定しており、新規の地方債発行が見込まれる。このことから、他事業における地方債の発行の抑制等により、類似団体平均を上回ることがないように努める。

公債費負担の健全度
 以前からの起債抑制などにより、類似団体平均を下回っている。これからも地方債発行額を極力抑え、引き続き水準を抑えるよう努める。

定員管理の適正度
 類似団体平均を上回っている。定員適正化計画に基づく定年退職者の不補充や民間委託の推進等、また事務事業の見直しによる効率化により、職員数の削減を図り、職員の定員管理に努める。